

はたちの感想文

瀧口 智尋



あっという間の出来事のように、長かったようにも感じられたこの二十年。自分も二十歳になったのかという実感はあまり無かった。

しかし、これからは全て自分でなんとかして生活しなければならないと考えた時、二十歳になり社会人の仲間入りをするという実感がようやく持てた。

今は専門学校へ通うために一人暮らしをしているが、それも両親からの助けを沢山もらっての生活だ。これからは洗濯や炊事はもちろんのこと、身の回りに関することは自分で責任をもってやらなければならない。自立するということだ。

ここまで育ててくれた両親や支えてくれた沢山のの人に感謝し、気持ちを引き締めていきたいと思う。

また、人との時間を大切にし、これからは自分らしく生きていきたいと思う。